

2020年  
3月01日  
第4号

# Welcome TOKYO 25th

第25回全国交流集会  
現地・東京実行委員会  
発行責任者 齊藤邦彦

## <第25回全国交流集会>

5月16日(土)13時

17日(日)12時まで

[ニューウェルシティ湯河原]

参加費:16,500円



## 104名の目標を掲げ 2月22日現在78名が確定

東京現地実行委員長 齊藤 邦彦

新型コロナウイルスが心配：

年始早々から、世界を

揺るがす新型コロナウイルス

の感染が治まる兆し

が見えないなかで、交流

集会が無事に開催できる

のかと心配されている会

員の皆さんがいると思

います。

このような状況がいつ

まで続くかも分からない

状況であります、早い

もので実施時期まで残り 随で104名という目標

3か月となりました。現 在を掲げ、その目標に向け

地実行委員会としては、

全国の仲間の皆さんを迎

え入れ、成功裡に第25回

全国交流集会が終えるこ

とへの万全を期すために

開催に向けた準備を進め

ているところです。

全国の仲間のみなさん！

現在の準備の状況は、

「100人の一歩で創る

全国交流集会」をスロー

ガンの下、現地実行委員

会の活動にあわせて足元

の所属県協内の参加集約

に向けて動き出していま

す。

目標に向けて具体的に

現地実行委員会の地元

からの参加目標も昨年段

2月22日現在で参加確定

数が78名となっておりますが、例年より早い段階から団編成を整え県協全体の総力を挙げて参加目標に達成に向けて努力をしています。

東部協は団編成を

例えば、東京東部協で

は、すでに団編成をおこ

ない、会員一人ひとりが

実行委員を担う構えをもっ

て参加できるように各友

の会で討論を重ね、もう

一人の仲間の参加拡大に

向けて動き出しています。

近年、リストアップ者

に掲げても自らの体調を

崩して活動もままならな

い状況に陥ったり、親の

介護問題が発生したり、

きています。

迎え入れ準備が着々と

東京ブロック全体が一丸

となつて、全国の仲間を

迎え入れる準備が着々と

進んでいることをご報告

して、私からの報告とさ

せていただきます。

### 人に歴史あり

当時、子ども連れて参加仲間育てられ、仲間がいて私の原点で、運動の柱友の会運動とのかかわりは、30年以上になります。その当時は誘われるまま、学んだことをまじめに、素直に実践に移してきました。

10年くらいしたら仲間の討論で、自分の意見や考えを少しづつ言えるようになってきました。

20年くらいしたらやっと人のためではなく、自分のための友の会運動になってきたように思います。当時6歳と8歳だった子どもたちも40歳を過ぎました。その頃の「婦人講座」や「平和友好祭」などには、子どもを連れて参加をし、仲間たちに遊んでもらい、仲間育てられてきたようなものです。そのような仲間たちがいる今の私があると思つています。

その頃学んだ「家族ぐるみ」や「仲間」は私の原点です。今でもそのことは自分の運動の柱に据えています。自分の生き方としての友の会運動の追求はこれからもまだまだ続きます。

東京中部協  
かなえ友の会 町田利津子

(2月23日記)

